

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

長津田地区は、人口が4万人を超え、世帯数、面積ともに区内で最大の地区である。1連合、1地区社協、1地区民児協があり、連合には29の自治会で構成される。地区全体では、高齢化率は18.78%と区内で最も低いが、自治会ごとに見ると高齢化が40%に迫る自治会がある。一方で、子育て世代が多い自治会があるなど、自治会ごとの課題は様々であり、地区全体で課題を捉えるのではなく、自治会ごとの課題の確認と解決に向けた取組みが必要である。

また、令和2年度は、コロナ禍で地域活動が停滞し、外出の機会が少なくなり「日常生活動作が低下した」「認知症が進んだ」等、要介護状態に陥ったとの相談が多くなっている。また、地域活動の停滞に伴って、担い手不足が顕在化してきた状況である。

これを受け、今年度は地域活動を再生すべく、地域と地域ケアプラザとのつながりを再構築すると共に、既存のネットワークを活性化させ、「地域の支え合い」を強化していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	遠方エリアとのつながり再構築と「集いの場づくり」等の地域に必要な取組みができるように、出張講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自治会単位の「見守り」や「集いの場づくり」につなげられるように、地域ケア会議を自治会単位で開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「長津田ささえあいネット」の「見守り活動」を活性化するため、協力事業者向けの定期的な通信紙の発行すると共に、協力事業者による認知症サポーター養成講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「向こう三軒両隣委員会」の各部会（ささえあいネット部会、高齢者福祉部会、子ども・子育て部会）で作成した情報紙を地域に配布する。また、活用状況を把握して次の情報発信につなげる。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	長津田地区の子育て世帯の交流のきっかけとなる場をつくるため、子育て支援や父親育児支援についての連続講座を開催する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域のキャラバンメイト「チーム長津田」の新たなメンバー確保として、キャラバンメイト養成研修受講者を増やしていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・コロナ禍で事業の延期・中止となることもあったが、感染対策を行いながらライオンズマンション長津田第3自治会及び包括エリアで地域ケア会議を各1回実施し、「見守り活動」や新たな「集いの場」創出について検討した。地域ケア会議後、ライオンズマンション長津田第3では、正月に地域の神社・仏閣廻りをマンション住民で企画し地域住民同士の交流を行った。

・高齢者にデジタルを活用した生活支援の取組として、地区社協ボランティア部と連携し「ICT協議体」を発足。半年間の準備期間を経て、繋がりが薄い自治会（東向地団地自治会）へ向け、「出前スマホ講座」を実施した。また、「ICT協議体」から新たな「担い手」として、「今からスマホ」グループ（地区社協所属）が発足。今後も老人会を中心に、出前講座の開催を企画していく。

・買い物困難者に対しては「移動販売車」の導入を区社協・区役所・地域と連携し行った。「移動販売車」をきっかけに、生活支援の「ボランティアグループ」や「集いの場」を自治会と一緒に企画。今後も自治会と連携し、地域資源の創出に努めていく。

・今年度も昨年に引き続き「食に困っている方」へ向け、「食支援」を12月に実施。今回は地区社協と協力連携し、広報・食支援を企画。また、地域住民による「食支援」を目的とし、「食のお渡し会」では、地域住民に運営を担ってもらった。今後も地域主体で「食支援」を計画・実施出来るよう支援していく。

区からのコメント

コロナ禍の状況で事業の中止等思うように事業を進めることが難しい場面等あったかと思いますが、感染対策や開催方法など工夫し、積極的に自主事業の企画・実施を行い、地域の活動にも参加していただいた様子がうかがえます。地域活動へ参加したことで把握した地域課題を基に新たなつどいの場の創出・地域住民が企画・実施する取組への支援などにご尽力いただきありがとうございました。またデジタル関連では、地区社協のボランティアと連携し、ICT活用の一環として、自治会へのスマホ講座の実施を行うことで、地域でのデジタル化推進を支援していただきました。これに付随して、新しいネットワークの創出・地域担い手の発掘に貢献いただいたことについては区内でも好事例となると思います。移動販売についても自治会と連携し、買い物場所の創出のみならずそこから集いの場として地域資源の創出の一端を担っていただけたことを期待しています。長津田地区は30の単位自治会数あり、区内でも最大規模の地区になりますが、引き続き「向こう三軒委員会」の各部会の支援をはじめ、多くの団体・活動への支援を区・区社協・関係団体と連携して行っていただくようお願いいたします。

令和3年度長津田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	市の公共施設であることを認識して、常に地域住民や利用者の視点に立った対応に心掛けます。情報提供に当たっては、正確な情報を収集した上で、分かりやすく説明します。介護保険サービス事業者を紹介する際は、複数の事業者の情報を伝えて不利益が生じないようにします。	朝夕のミーティング、各部門会議にて事故報告やヒヤリハットを共有し、再発を防止します。また、コンプライアンスや個人情報保護に関する研修を職員全員に実施し、法令に基づいた業務を行います。
実績	常に利用者や家族の立場に立ち、複数の選択肢の提示や丁寧な説明により、本人の自己選択、自己決定を支援し、公正中立に業務に取り組めました。また苦情対応とマナー研修を全職員に実施し住民、利用者の視点にたった対応を学びました。	年2回の職員全体会議にてコンプライアンス研修及び個人情報研修実施し、定期的に職員会議部門会議で周知を実施した。法人内のルールに従って個人情報の保護に取り組めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	地域全体で介護予防が進められるように、地域で行われる活動への参加を意識したケアプランを作成します。また、居宅介護支援事業所への委託については、委託先が偏らないようにします。	利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営めるようなケアプランを作成し支援を行うと共に、利用者家族が身体的・精神的負担を軽減できるよう努めます。
職員体制	常勤職員:3名 非常勤職員:2名	常勤職員:1名 非常勤職員:3名
契約者数	219名	介護120名、支援14名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者一人ひとりの生活を大切に し、その人らしく生き生きと健康が 維持できるようにサービス提供しま す。また、家族からの生活相談にも 対応し、住み慣れた地域で在宅生 活が継続できるようにします。		
実施 体制	【実施日数】 359日(12/29～1/3除く) 【提供時間】 10:15～15:20 【定員】 35名(第1号通所事業含む)	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用 料金 ・ 費 負 担	【1割負担】 要介護1)608円 要介護2) 719円 要介護3)829円 要介護4) 939円 要介護5)1,050円 入浴加算Ⅰ)43円 個別機能訓練加算Ⅰイ)60円 体制強化加算Ⅱ)20円 認知症加算)65円 科学的介護推進体制加算)43円 介護職員処遇改善加算Ⅰ)所定単位数に1000分の59を乗じ た単位数を加算します。 介護職員特定処遇改善加算Ⅰ)所定単位数に(Ⅰ)1000分の12を 乗じた単位数を加算します。 ※2割・3割負担は省略		
職員 体制	管理者 1名(常勤) 生活相談員 4名(常勤2名、非常 勤兼務2名) 看護師 7名(非常勤兼務7名) 介護職員 11名(常勤兼務2名、非 常勤兼務9名) 機能訓練指導員7名(非常勤兼務 7名)		
契約 者数 等	【延べ利用者数】567名 【契約者数】76名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,122,000		17,122,000	17,122,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	0	0	0	4,888	△ 4,888	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	4,888	△ 4,888	
その他	2,558,000		2,558,000	2,558,000	0	
収入合計	19,680,000	0	19,680,000	19,684,888	△ 4,888	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,506,000	0	12,506,000	11,277,161	1,228,839	
本俸	9,700,000		9,700,000	8,653,459	1,046,541	
社会保険料	790,000		790,000	839,331	△ 49,331	
手当計	976,000		976,000	1,708,089	△ 732,089	
健康診断費	20,000		20,000	7,617	12,383	
勤労者福祉共済掛金	20,000		20,000	6,750	13,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,000,000		1,000,000	61,295	938,705	
その他			0	619	△ 619	
事務費	200,000	0	200,000	1,700,366	△ 1,500,366	
旅費	20,000		20,000	22,064	△ 2,064	
消耗品費	100,000		100,000	171,686	△ 71,686	
会議賄い費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	6,000		6,000	928	5,072	
通信費	4,000		4,000	265,622	△ 261,622	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	10,000		10,000	139,206	△ 129,206	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	9,972	△ 9,972	
職員等研修費	10,000		10,000	792	9,208	
振込手数料	5,000		5,000	0	5,000	
リース料	30,000		30,000	62,255	△ 32,255	
手数料			0	2,170	△ 2,170	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他			0	1,025,671	△ 1,025,671	
事業費	2,420,000	0	2,420,000	20,898	2,399,102	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	2,378,000		2,378,000	20,898	2,357,102	
その他			0	0	0	
管理費	4,080,000	0	4,080,000	4,953,677	△ 873,677	
光熱水費	2,497,000		2,497,000	2,815,481	△ 318,481	
清掃費	900,000		900,000	914,032	△ 14,032	
機械警備費	83,000		83,000	232,180	△ 149,180	
設備保全費	300,000	0	300,000	586,656	△ 286,656	
空調衛生設備保守	80,000		80,000	197,088	△ 117,088	
消防設備保守	30,000		30,000	21,470	8,530	
電気設備保守	30,000		30,000	64,566	△ 34,566	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	24,385	△ 14,385	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	150,000		150,000	279,147	△ 129,147	
共益費			0	0	0	
その他	300,000		300,000	405,328	△ 105,328	
修繕費	474,000		474,000	400,829	73,171	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	19,680,000	0	19,680,000	18,352,931	1,327,069	
差引	0	0	0	1,331,957	△ 1,331,957	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,378,000	0	2,378,000	20,898	2,357,102	
自主事業 収支	△ 2,378,000	0	△ 2,378,000	△ 20,898	△ 2,357,102	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市長津田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,298,000		29,298,000	29,298,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			6,846,000	0	6,846,000	
雑入	0	0	0	3,414	△ 3,414	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	3,414	△ 3,414	
その他	6,846,000		6,846,000	6,846,000	0	
収入合計	42,100,000	0	42,100,000	42,103,414	△ 3,414	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	37,913,050	0	37,913,050	24,814,120	13,098,930	
本俸	16,959,050		16,959,050	13,145,000	3,814,050	
社会保険料	4,015,000		4,015,000	3,263,699	751,301	
手当計	15,328,000		15,328,000	7,404,392	7,923,608	
健康診断費	100,000		100,000	30,798	69,202	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000	27,250	72,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,411,000		1,411,000	941,125	469,875	
その他			0	1,856	△ 1,856	
事務費	250,000	0	250,000	1,109,434	△ 859,434	
旅費	25,000		25,000	6,548	18,452	
消耗品費	110,000		110,000	136,358	△ 26,358	
会議賄い費	7,000		7,000	0	7,000	
印刷製本費	10,000		10,000	0	10,000	
通信費	10,000		10,000	395,654	△ 385,654	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	83,490	△ 33,490	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,353	647	
職員等研修費	10,000		10,000	25,462	△ 15,462	
振込手数料			0	0	0	
リース料	20,000		20,000	35,495	△ 15,495	
手数料	5,000		5,000	0	5,000	
地域協力費			0	0	0	
その他	0		0	424,074	△ 424,074	
事業費	2,726,950	0	2,726,950	191,000	2,535,950	
協力医	630,000		630,000	126,000	504,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	1,722,950		1,722,950	0	1,722,950	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	40,000	114,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	25,000	195,000	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,084,000	0	1,084,000	1,406,928	△ 322,928	
光熱水費	698,000		698,000	748,419	△ 50,419	
清掃費	200,000		200,000	658,509	△ 458,509	
機械警備費	23,000		23,000	61,718	△ 38,718	
設備保全費	61,000	0	61,000	155,941	△ 94,941	
空調衛生設備保守	22,000		22,000	52,390	△ 30,390	
消防設備保守	8,000		8,000	5,706	2,294	
電気設備保守	8,000		8,000	17,162	△ 9,162	
害虫駆除清掃保守	3,000		3,000	6,481	△ 3,481	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	20,000		20,000	74,202	△ 54,202	
共益費			0	0	0	
その他	102,000		102,000	△ 217,659	319,659	
修繕費	126,000		126,000	106,546	19,454	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	42,100,000	0	42,100,000	27,628,028	14,471,972	
差引	0	0	0	14,475,386	△ 14,475,386	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	2,096,950	0	2,096,950	65,000	2,031,950	
自主事業 収支	△ 2,096,950	0	△ 2,096,950	△ 65,000	△ 2,031,950	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

*各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市長津田地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位: 千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入				12,738	13,396	-658	18,016	18,694	-678	52,753	51,292	1,461			0
その他	0	0	0	0	13	-13	987	636	351	6,268	6,854	408	0	0	0
事業・負担金収入			0		13	-13	987	636	351	6,336	5,849	487			0
参加費収入(体験利用)			0			0			0	32	32	0			0
雑収入			0			0			0		79	-79			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
収入合計(A)	0	0	0	12,738	13,409	-671	19,003	19,330	-327	65,389	64,106	1,283	0	0	0
支出															
人件費			0	5,677	5,565	112	13,893	13,311	582	42,342	44,604	-2,262			0
事務費			0	16	12	4	37	56	-19	100	224	-124			0
事業費			0	12	46	-34	662	834	-172	20,021	22,656	-2,635			0
管理費			0			0			0			0			0
その他			0	5,613	6,254	-641	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料			0	5,613	6,254	-641			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	0	0	0	11,318	11,877	-559	14,592	14,201	391	62,463	67,484	-5,021	0	0	0
収支 (A) - (B)	0	0	0	1,420	1,532	-112	4,411	5,129	-718	2,926	-3,378	6,304	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者のつどい	平成30年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	介護を行っている地域住民が、孤立せず介護に向き合えるようにする。	5：地域		介護者同士の語らいや交流の場を提供すると共に、具体的な介護技術やリフレッシュ方法を伝える。	2	8
2	エンディングノート講座	令和3年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	本人や家族が終末期に向けて意識し準備を行うことが出来るように、エンディングノートともしも手帳の利用を促進する。	1：高齢者	5	エンディングノート・もしも手帳の利用方法について講義を行い、配布する。	1	12
3	もしも手帳		2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	1：高齢者	5	もしもの時に必要なものが揃っているグッズ「もしも」手帳の使い方、活用方法を地域へ伝える。	0	0
4	介護保険のいろは	令和3年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	介護保険制度と地域包括支援センターの普及啓発のため講座	1：高齢者	5	介護保険制度について、申請の流れ、サービス利用までの流れ、サービス内容について説明する	1	18
5	長津田げんき応援隊	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	平成29年度予防普及啓発事業『長津田わがまちげんきインストラクター講座』OBにより結成された『長津田げんき応援隊』が、地域の身近な場所で簡身体操・脳トレクなど介護予防に関わることを伝達でき、地域で活躍するグループとなる。	1：高齢者	5	介護予防とボランティアに関する知識。脳トレ・ハマトレ・介護予防体操などの技術講習。定例打合せとグループワーク。	13	95
6	げんき上手になるサロン	平成30年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	平成29年度介護予防普及強化事業『ひとりめし・ふたりめし・みんなめし』開催後、講座参加者OB有志が食や集う事を通じていつまでも元気に過ごす事のできる体づくりと仲間づくりを目指す地域の居場所としてサロンを運営する	1：高齢者	5	いつまでも元気に過ごす事ができる体づくりと仲間づくりを目指す。	12	183
7	音のたまてばこ	令和元年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	歌を通して、仲間づくりや居場所としてサロンを運営する。	1：高齢者		歌を通して、仲間づくりを目指す。	7	198
8	ICT活用普及グループ「今からスマホ」	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	高齢になっても地域で安心して暮らし続けるために、ICTを活用した「生活支援：買い物、オンライン診療」や「集いの場：オンライン集会」に繋がることを目的に、ICT活用普及グループ（協議体）を立ち上げ、地域の高齢者にICTを取り入れた便利な生活が出来るよう普及、支援していく。	1：高齢者	5	スマホを使用して日が浅い方や使用方法をあまり理解していない高齢者を対象に、「生活支援：買い物、オンライン診療」や「集いの場：オンライン集会」の講座を開催する。	21	82
9	男性高齢者の集いの場「歴史講座」	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	定年退職された男性を対象とした講座を継続的に開催し、新たな「集いの場」として定着させる。	1：高齢者	5	介護予防に繋がる内容も反映する。また、新たな活動（ボランティア）等へも展開出来るよう推進する。	1	25
10	(仮)地域の魅力を再確認「地域マップ」	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域で安心して暮らし続けるため、地域の「集いの場」や「避難場所」の確認等も含め、地域住民と協力し「マップ」を作成する	5：地域		地域住民と共に、地域の「マップ」を作成する。	0	0
11	地域支え合い講座	令和2年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域住民の「集いの場」「猫の手（生活支援）」の活動を支援する為、継続的に新しい担い手を増やしていくことを目的とし、「地域支え合い講座」を開催。	5：地域		地域住民の「集いの場」「猫の手（生活支援）」の活動を支援する為、継続的に新しい担い手を増やしていくことと、また新たな「猫の手」（生活支援）グループの立上げ支援、ネットワーク化を目指し、地域の支え合いを支援する。	0	0
12	楽しい！かんたん！スマホ教室	令和2年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	新しい生活様式に合わせたコミュニケーションを図る手段を知る機会として「かんたんスマホ講座」の「初級編」、また今後、オンラインを活用した買い物（ネットスーパー）や医療（オンライン診療）等の生活支援に繋がる「活用編」を実施する。	1：高齢者	5	・初級編は、マップ、LINE、LINEビデオ通話 ・入門編は、便利アプリ、乗換案内、Siri等 ●12月7日 13:30～15:30 ●12月14日 13:30～15:30	2	39

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	認知症サポーター養成講座	令和2年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	認知症サポーターを増やし地域で見守っていくことで、認知症があっても安心して暮らせる町づくりを目指す。	5：地域	1	認知症の症状や対応方法などを講義とDVDで学ぶ。修了者には認知症サポーターカードを渡す。	2	18
14	布えほん・布おもちゃの貸出事業（譲渡会）	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍で、「布えほん・布おもちゃ」貸出事業が終了となる。貸し出していた「布えほん・布おもちゃ」を団体や施設で活用していただくため、「布えほんお渡し会」・「布おもちゃお渡し会」の譲渡会を開催する。	4：子ども・青少年	5	ネット(Forms)で欲しい布おもちゃ・を布えほんを選んで申し込んでもらう。応募者多数の場合は抽選し、当選した方に「ふえると」と共催でお渡し会を実施する。	4	82
15	親子サロン「ちょっと ほっと・る一む長津田」	令和2年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の中で安心して子育てができよう、親子の居場所を提供する。	3：養育者及び乳幼児	5	R2.11～地域のボランティアによる親子で集うサロン。おもちゃや季節に合わせた読み聞かせ、歌などで、交流を図る。 ●原則：毎月、第1、2 水 10:00～11:00 ※H16～自主事業「ほっと・る一む長津田」を時間短縮、事前申込制等、内容変更して開催。	13	310
16	中途障がい者ポッチャサークル「遊遊クラブ」	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に閉じこもり防止し、当事者同士の仲間づくりや交流・生活意欲の向上等を促進する。	2：障害児・者	5	主に地域の脳血管性後遺症等の中途障がい者を対象に、リハビリのため「ポッチャ」を行う。また、年に数回、地域住民との対戦「ながびよんカップ」にて交流試合を行う。 ●毎月、第2・4土 10:00～12:00	24	256
17	子ども支援(仮)	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生とその保護者を対象とした交流の場(オンライン併用)をつくり、地域への関心を高めて将来の地域に関わる人材を育成する。	4：子ども・青少年	5	小学生、保護者同士が交流し、横・縦のつながりができる講座を開催する。	0	0
18	まちライブラリー	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	まちのあちらこちらで、メッセージ付きの本を置き、借り合うことを通じて、人の縁を紡ぐ。	5：地域	2	「まちライブラリー」を設置し、本の管理を行う。	0	0
19	地域活動支援センター「あしたば工芸」出店事業	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	「あしたば工芸」の対象者である「精神障がい者」を対象者である「精神障がい者」と地域住民が、物販を通じて交流できる場を提供する。	5：地域		「あしたば工芸」の対象者である「精神障がい者」を対象者である「精神障がい者」と地域住民が、物販を通じて交流できる場を提供する。	43	596
20	長津田人材バンク	令和元年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	長津田地区のニーズや課題把握を握し、身近な地域で住民相互の支えあいや生きがいづくりを促進する。	5：地域		長津田地区で、特技や知識を活かしたい登録者と、手伝って欲しい依頼者をつなげる仕組みを運営し、地域課題を解決する。ボランティア交流会を、秋以降開催。	0	0
21	ふれあい喫茶「もちーふ」	平成7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害者と地域住民との交流を促進する。	5：地域		長津田地域の障害者通所施設「横浜市つたのは学園」の利用者と家族会、ボランティアによる喫茶室の運営 ●毎月、第1・3木 10:00～14:00(ラストオーダー13:30) ●ミニコンサートや12月はクリスマスコンサートを開催	0	0
22	コーディネーターハウス	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	区民に広く「地域活動交流コーディネーター」業務を周知し、円滑な地域活動交流事業の推進を図る。	5：地域	7	地域活動交流事業紹介パネル展示、日替わりカフェ、ポッチャ体験等 缶バッジ作り、ミドリンと踊ろう！等	1	100
23	障がい者自立支援講座(仮)	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害児者とその保護者を対象とし、生活上自立支援や親亡き後についての講座を基幹相談支援センターと共催で開催する。	2：障害児・者	5	・障害者年金の取得方法 ・自立に向けての準備 等 秋以降、講座開催。	0	0
24	食支援	令和2年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減収し「食」にお困りの方を対象として、長津田地区の支え合いによる食支援(食品の寄付募集+配分会)を実施する。	5：地域		常温保存可能な食品、未開封の食品、賞味期限まで2カ月以上の食品等の寄付を9月に募集し、10月配分会を実施。	2	153
25	ボランティア交流会	平成30年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域で活動されている貸館利用団体やボランティアに、日頃の感謝を伝えるとともに、ボランティア相互の情報共有や連携を目的として、開催します。さらにボランティアの活性化、ネットワーク化を目指す。	5：地域		団体・自己紹介。GW悩んでいる事等	0	0

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	パパ育児応援講座	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	長津田地区に在住する父親を始めとした子育て世帯が、仲間作りや相談場所を見つけるきっかけづくりや、個々の課題の把握・解決の場を目的とした連続講座	3：養育者及び乳幼児	5	・子育て&はじめの一步&体を使った遊び(9月) ・イライラしない子育て&夫婦のパートナーシップ(10月) ・パパと公園で遊ぼう！(10月)	3	47
24	あおぞらといっしょ	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	コロナ禍で、行き場所や相談先が少ない障がい者やその家族がCP、基幹相談支援センター「あおぞら」、地域住民、当事者家族と繋がるきっかけづくりやニーズの把握のため実施	2：障害児・者	5	・ハンドベル(10月) ・フラダンス(12月) ・コンサート(3月)	2	39
25	キッズマネースクール	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生親子へのCPの周知や、コロナ禍で小学生がCPを通して大人と交流し社会参加のきっかけづくりのため。また、金銭教育を通して生きる力、暮らし続ける力をはぐむ種まきを行うため実施する。	4：子ども・青少年	5	長津田地区在住の小学校1年生～3年生とその保護者を対象としキッズマネースクール認定講師による「おみせやささんごっこ～はたらくってなーに～」を実施する。	1	28